

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

<p>〔開会の宣告〕 遠藤教育長</p> <p>〔会議の成立〕 遠藤教育長</p> <p>〔公開の審議〕 遠藤教育長</p> <p>遠藤教育長</p>	<p>平成30年10月定例教育委員会会議を開会する。</p> <p>本日は、私の他4人の委員が出席しているので、この会議は成立する。 会議録署名人は、泉委員と出川委員とする。</p> <p>本日の会議日程について、議第65号については、「教育予算その他議会の議決を経るべき議案についての意見の申出に関する案件」に該当することから、会議規則第13条に基づき非公開の審議が適当と考えるが、議第65号について、非公開に賛成の委員は、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>全員賛成により、議第65号については、非公開とする。</p>						
<p>日程第1 前回会議録承認</p>							
<p>遠藤教育長</p> <p>遠藤教育長</p>	<p>9月27日開催の平成30年9月定例教育委員会会議録を承認することに異議があるか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>異議なしと認め、前回の会議録を承認する。</p>						
<p>日程第2 事務局報告</p>							
<p>(1) 事業・行事等報告について</p> <p>前回会議(H30.9.27)以降の事業・行事報告(主なもの)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">10月 2日(火)</td> <td>第3回校長・園長会</td> </tr> <tr> <td>4日(木)</td> <td>第32回熊本県市町村教育長研修大会(～5日)</td> </tr> <tr> <td>16日(火)</td> <td>市長とドンドン語ろう&タウンミーティング! with 高校生</td> </tr> </table>		10月 2日(火)	第3回校長・園長会	4日(木)	第32回熊本県市町村教育長研修大会(～5日)	16日(火)	市長とドンドン語ろう&タウンミーティング! with 高校生
10月 2日(火)	第3回校長・園長会						
4日(木)	第32回熊本県市町村教育長研修大会(～5日)						
16日(火)	市長とドンドン語ろう&タウンミーティング! with 高校生						

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

18日(木)	全国美術高等学校協議会研究大会熊本大会総会
19日(金)	第48回九州ブロック社会教育研究大会熊本大会
21日(日)	熊本市小体連陸上競技大会
23日(火)	熊本市中体連駅伝競走大会
26日(金)	第59回九州音楽教育研究大会熊本大会
27日(土)	第34回小学校算数教育全国(熊本)大会
今後の予定(主なもの)	
10月31日(水)	第4回校長・園長代表者会 熊本博物館協議会
11月 1日(木)	心かがやけ月間 あいさつ運動
6日(火)	教育課程検討会議
14日(水)	教育委員会行政視察(～16日)
19日(月)	小中一貫教育検討委員会
20日(火)	第4回校長・園長会
日程第3 議 事	
<p>・議第63号 平成31年度教育委員会事務局等職員(教職員を除く。)異動一般方針について</p> <p style="text-align: center;">《上村教育政策課長 提出理由説明》</p>	
遠藤教育長	昨年度からの変更点はあるか。
上村課長	変更点はない。
遠藤教育長	ジョブローテーションを適切な日本語にできないか。なければ、来年度に向けて適切な日本語がないか検討をお願いします。
上村課長	現時点で適切な日本語が見つからないため、来年度に向けて検討する。
泉委員	資料3-3の「4」に、「新規採用職員については、将来にわ

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

上村課長	<p>たつての人材育成にも配慮しながら適正配置に努める。」とあるが、具体的にはどのようなことに配慮した配置を行っているか。</p> <p>新規採用職員については、まず大学で学んだこと等を考慮し配置を行い、配置後にその適性を見ながら、次の配置につなげている。</p>
泉委員	<p>一般的に新入社員の離職率が非常に高いと言われているので、どのような配慮がなされているのか聞きたい。</p>
上村課長	<p>データを持ってはいないが、新規採用の市職員で、離職する職員はあまりないように思う。</p>
津田部長	<p>やはり、離職率のデータは特にないと思うが、これまでの経験から、新規採用からしばらく経過して、仕事について悩む職員が多いように思う。例えば、安定志向で公務員という職を選ぶことも少なからずあり、その後配属された職場での仕事の内容が自分に合わない等で悩む職員はあると思うが、それが離職につながることは多くないと思う。但し、そういった悩みもあることから、30代半ばまでは、市長事務部局との人事交流も含め、様々な職場を経験してもらうように考えている。</p>
<p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>	
<p>・議第64号 平成31年度教職員異動方針について</p>	
<p>《木楡教職員課長 提出理由説明》</p>	
<p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>	

日程第4 報告

・報告(1) 平成30年第3回定例市議会報告について

・報告(2) 平成31年度熊本市立学校教員採用選考試験の結果について

《木櫛教職員課長 報告》

森委員

今年は、一次試験に合格し、二次試験の際に辞退された受験者が多かったような印象がある。受験者の都合もあり、完全になくすことはできないと思うが、来年に向け、この事態に関する対策は考えているか。

木櫛課長

面接辞退者に関しては、その事情の確認を行っている。一次試験の合格発表前にわかればいいのだが、他県・都市に合格した方もあり、その具体的な対策については、これから検討を行う。

遠藤教育長

去年は辞退者が1人であったが、今年は13人辞退している。何らかの事情があったと思われるが、個別に聞いているか。

木櫛課長

先ほどお伝えした、他県・都市に合格した方以外では、面接の日程が、現在の仕事の勤務日ではずすことができないという方もあった。

遠藤教育長

全体的に志願者数が減って、採用予定者数が増えているので、倍率は減少しており、更に減少させたくない考える。熊本県の状況はどうか。

木櫛課長

本市の小学校の倍率が3.1倍であるのに対し、熊本県の小学校の倍率は、2.2倍である。

遠藤教育長

広報等で工夫ができないか。

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

木櫛課長	現在パンフレット等を大学等に持参し、説明会等を実施している。市政だよりでもその説明会等について周知を行っているところである。その他、市のホームページをはじめ、いつでもどこでも見るができるよう、今後はネット上のツールを活用することが考えられる。また、熊本出身の方で、過去に採用が少なかったために、首都圏や関西圏に本採で就職された方もあるので、そのような方々に本市は59歳まで受験可能であることを周知することも考えられる。
泉委員	働き方の負担感を軽くしたことについて、PRすることが効果的ではないかと考える。
遠藤教育長	残業時間は、実際に減っているのか。
木櫛課長	6、7月については少し減少していた。夏休み後の9月についてはまだデータがまとまっていない。残業時間が80時間を超えている職員について、前年度と今年度の数を比較しているが、その職員数は減っており、成果が出ているものと思われる。
遠藤教育長	熊本市では働き方改革に力を入れており、実際に残業時間が減っているということがアピールできると良いと思う。
出川委員	合格者のうち、新卒者の割合はどのくらいか。
木櫛課長	今年の合格者については、165人中、新卒者は37人で、割合は22.4%である。昨年度は、14.7%であった。
出川委員	申込者数における新卒者の割合はどのくらいか。
木櫛課長	現在手元の資料には、そのデータがないため、後ほど確認してお伝えする。
<p>・報告(3) 平成30年度(第54回)熊本市学校環境緑化コンクールについて</p>	
<p>《松島指導課長 報告》</p>	

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

小屋松委員	参加校はどのような経緯で応募するのか。緑化に熱心な先生が配属されれば応募し、そうでなければ応募しないということがあるか。
松島課長	熱意のある担当者がある学校からの応募が多いという傾向はあるが、教育委員会からは、できれば3年に1回程度を目安に応募されるよう学校に伝えているところである。
小屋松委員	この事業の目的に、「持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成」とあることから、継続して取り組むことの大切を伝えるために、継続して取り組んでいることも審査の評価基準に加えてはどうか。
松島課長	そのような点も一つの視点として取り入れているところであるが、改めて評価していきたいと考える。
遠藤教育長	3年に1回程度を目安にと伝えていることから、大半は毎年違う学校が応募するのか。それとも、大半は同じ学校が応募するのか。
松島課長	毎年応募いただく学校もあるが、全体としては、毎年少しずつ応募校が変わり、バランス良く応募いただいている状況である。
小屋松委員	熱心な校長先生が異動されたら、熱心でなくなるという状況にならないよう、きちんと根付くよう、継続した取り組みを評価することが大事と考える。
<p>・報告(4) 広報広聴関係について</p>	

日程第5 自由討議

・テーマ：ICTの活用について

遠藤教育長

本日は、この会議の前に教育委員の皆様にお集まりいただき、現在、小中学校に随時導入しているタブレットや電子黒板、実物投影機の実物をご覧いただき、また、先日白山小学校で行われた研究授業の様子も映像でご覧いただいたところである。これらを踏まえ、今後のICTの活用について、意見を伺いたい。

小屋松委員は、先日の白山小学校の研究授業を実際に観ていただき、感想を聞かせていただきたい。

小屋松委員

まず、体育の授業で、タブレットを使って自分の動作を録画することで、自分を客観的に見て、良い点や悪い点を確認して改善することができ、良いと思った。別の食育の授業では、子どもたちがタブレットを使い慣れていることに感心した。

遠藤教育長

私も白山小学校の研究授業に行き、同じ体育の授業を見たが、皆で一斉にタブレットを使って撮影をするのではなく、子どもたちが好きな時にタブレットを取りに行き撮影し、級友と画面を見ていた。授業の流れを止めずに、必要な時にタブレットを使うことが自然にできており、面白いと思った。また、食育の授業は、子どもたちがプレゼンテーションを作成し、発表するというものであったが、インターネットでプレゼンテーションに合うイラストや写真を検索して、取り入れているところが面白いと思った。どちらの授業でも、子どもたちは自然にタブレットを活用しており、先生が使い方を教えてもらっているような場面もあった。白山小学校の子どもたちには、毎時間タブレットを使いたい、3人に1台ではなく、1人1台配備してほしいという希望があるそうである。

小屋松委員

私は逆に3人に1台くらいで良いと思った。1つのタブレットを囲んで3～4人のグループで話し合いを行っており、先生の話を一方向的に聞くのではなく、小グループで子どもたちがみんな能動的に学習しており、今後はこのような学習の形式が良いのではないかと思った。

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

遠藤教育長	<p>タブレットを使って、子どもたち同士がみんなで意見し合うことができていた。少し集中力に欠けるかなと思われる子どもも、3人くらいのグループでは、議論に参加することができていた。</p> <p>現在、3クラスに1クラス分の配備となっているが、3回に1回は1人1台使えるということなので、毎時間3人が1台使うという使い方をすることは可能か。</p>
土井教育情報室長	<p>1日に1クラスが、1人1台使ったとしても、余っているタブレットを他のクラスで、3～4人で1台使うことができ、授業が6時間あるとして、タブレットを使った授業が最低でも4時間はできると計算している。</p>
遠藤教育長	<p>その割振りは、学校で誰がどのように行っているのか。</p>
土井室長	<p>運用は学校に任せており、教育委員会から指示は行っていない。</p>
遠藤教育長	<p>運用について今のところ問題はないか。</p>
土井室長	<p>問題はないようだが、学校からはもっと台数がほしいとの要望が上がっている。</p>
遠藤教育長	<p>他に何かご意見はないか。</p>
小屋松委員	<p>まず、先生が使いこなせるようにならなければ、授業が円滑に進まないと思う。子どもたちは覚えるのが早いですが、先生が活用できるかが心配である。</p>
泉委員	<p>上手に使いこなすための技術を先生方が身につける必要がある。</p>
小屋松委員	<p>先生による差が出てくると考えられる。活用が得意な先生とそうでない先生とでは、授業内容が変わってくるかもしれない。</p>
遠藤教育長	<p>研修は全員を対象に行っているのか。</p>
土井室長	<p>全教員を対象に、操作研修を実施した。</p>

遠藤教育長	<p>白山小学校を見た限りでは、どの先生も積極的に使っているようだった。全学校に導入後、学校による差が出てくるかもしれない。ただ、タブレットを導入した授業での子どもたちの集中力を見ると、一度タブレットを取り入れたら、先生がしゃべるだけの授業には戻れないと思われる。</p> <p>ところで、事務局で学校から今後の課題や改善点等について聞いていないか。</p>
松島指導課長	<p>タブレットを先行導入した学校を訪問すると、試しにどんどん使ってみようというところであるが、使用希望者全員が使えず、もっと台数を増やしてほしいとの要望がある。また、電子黒板がほとんどの学校に導入されているが、学校訪問でその利用状況を確認すると、その利用率は大変高くなっていると感じている。</p>
森委員	<p>教科書会社が用意する電子黒板用の教科書ソフトがあるが、現在学校ではそのソフトを活用しているのか、それとも先生が独自の教材を作成し、電子黒板を媒体として授業を行っているのか。</p>
松島課長	<p>その両方である。例えば小学校では、昨年度採択された道徳教科書の指導書にはデジタル教科書が付属されており、それを活用して授業を行うこともある。また、教科によっては、別途デジタル教科書を購入し、活用する場合もある。外国語に関しては、文部科学省からデジタル教材が提供されているので、その活用を行っている。それ以外は、先生がパワーポイント等を作成し、教材として活用するなど、様々な活用が見られる。</p>
森委員	<p>タブレットや電子黒板は既に導入されているところであり、それらを使用するか否かの議論ではなく、従来型の板書等が良い場面と、電子黒板等を使った方が良い場面について考えるべきである。タブレットや電子黒板を使いこなしている先生から、従来型の板書等で行う方が良い場面もあると聞いた。電子黒板やタブレットが有効に活用できる場面と、従来の板書やノートに書かせることが有効な場面をきちんと整理し、現場の先生にも浸透させ実践することで上手な使い方ができると思う。先ほどの話にあったように、全員使いたいという物理的</p>

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

長尾教育センター所長	<p>な問題もあるが、単に数がないから仕方なくではなく、この授業は従来型で行った方が良いという授業と上手に組み合わせ、現場で両方の良さが出るような工夫をもっと行ってはどうか。</p>
	<p>現在当センターの教育情報室の担当者も学校を訪問し、ICTの活用状況について確認を行っているところである。その際、授業の中でどんどん進めていく内容の場面ではICTを活用し、めあてなどの大事なポイントは黒板にしっかりと書いて最後まで留めておくようにして、ICTを授業改善のツールとして使ってほしいというお願いをしている。また、デジタルだけではなく、実物を見せることで、より理解を深めることができるため、ICTを使用することを目的とするのではなく、授業を理解するため、改善するためのツールとして使ってもらえるように発信していきたい。</p>
松島課長	<p>先日行われた研究授業において、ごぼうの繊維を子どもに見せる際に、最初はICTを使って繊維の部分を拡大して見せようとなっていたが、実際に手元に配布して割いてみる方が、目と感触で実感でき、子どもたちにとってよりわかり易いと判断し、その場面では実物を使ったという話を聞いた。ICTの研究授業でも実物を使う場面もあり、学校ではICTの活用も含め、どんな授業をしようかという意識が高まっているところと思われる。</p>
遠藤教育長	<p>そのようなことを試してみるためのモデル校であるが、モデル校の知見を今後どのような方法で広めていく予定か。</p>
長尾所長	<p>現在、先行導入校については、各学校で実践を蓄積していただくようお願いをしている。その中で、他校においても使えるような実践については、教育センターのホームページやその他の方法でその情報をいつでも共有できる仕組みをつくっていきたいと考えているところである。</p>
森委員	<p>電子媒体がない時代は、紙媒体で置かざるを得ず、例えば、良い授業の授業計画書や板書等を全部きちんと残して、教育センター等の研修機関に置いてあった。神戸に行政視察に行った際にも、ライブラリーのようにしてきちんとストックされてい</p>

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

	<p>るのを見たことがある。しかし、現在は電子媒体を使うので、今言われたように、一種のライブラリーのようにしてデータを保存し、例えば、この教科のこういう単元で、授業をしたいけれど、それに該当するものはあるかということを検索できる仕組みにしていくと、現場も使いやすいと思う。</p>
出川委員	<p>タブレットからは、インターネットはどのような範囲で見ることができるようになってきているのか。ネットにつなぐ際の制限などはかけられているのか。</p>
土井室長	<p>全てにフィルタリングをかけているが、子ども用のタブレットには、より多くの制限を設けている。但し、現段階では、フィルタリングによって使い勝手が良くない部分があると聞くため、今後検討を行っていく。</p>
出川委員	<p>インターネットから情報を得る際に、勝手に使ってはいけないものがあることを教えるなど、情報教育を行っているか。</p>
長尾所長	<p>今までもパソコン室等にあるパソコンで子どもたちがインターネットを使う機会があり、その際、各学校では情報モラル教育を実施している。インターネットにつなぐ際、教育用として使用するものであること、それを使うことによって他人に迷惑をかけることがないようにすること、個人情報に関わることをネット上に掲載しないことなどについて指導を行っている。今後タブレットが導入されることで、インターネットの利用範囲が広がると考えられるため、タブレット導入研修の際にも、各学校で情報モラル教育も同時に実施するように話している。今後も機会があるごとに伝えていく。</p>
遠藤教育長	<p>不適切なサイトや画像をブロックすることについては、特に子ども向けには必要であり実施するが、アプリの使用や、メールや動画の閲覧に制限がかかっており、できるだけそのような制限をなくすようにしているところである。アクセスできるサイトを増やしてほしいということではなく、機能の制限を減らしてほしいとの声がある。例えば、教員が新しい教育用のアプリを使用したいと思っても、自分ではインストールできないといったような制約があり、そのような状況を極力無くしていくことにしている。また、データの使用について、授業以外で勝</p>

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

	<p>手に使用すると、著作権に触れることがあると思う。授業で利用するための複製はできていると思っているが、研究授業での子ども様子からは、著作権についてあまり気をつけている様子はなく、もしかしたら、授業以外の場でデータを使用する可能性もあると考えられる。授業ではなく、外部に向けたプレゼンテーションでは、使用することはできず、そのことについて、先生方にどれだけ意識があるのかと不安を持った。情報モラルだけではなく、著作権法に関する認識も先生方に持っていただく必要があると感じた。学校の授業や活動は著作権法上、判断が難しいものが多く、厳密に行うことで学校の活動が制限される場合もある。</p>
出川委員	<p>通常、少なくとも出典は明記するように伝えるといいのではないか。</p>
森委員	<p>出典を明記すればどれだけでも使っていいというものでもない。論文は引用文献を記載するが、その引用も多くすることはできない。また、学校では新聞をコピーして授業に使うことがあるが、これも厳密には判断が難しいものである。</p>
遠藤教育長	<p>授業中に使うのであれば、必ずしも出典を明記する必要はないが、書けるものは書くことになっている。但し、発達段階によって、小学校1～2年生がインターネットからの情報の出典元を記載できるか、また授業時間の中で、その作業にまで時間を割くことができるかは難しいところがあると思う。多少大目に見てもいいところはあるかもしれないと思うが、先生方には、本当はこうしなければならないということを知っておいていただき、知ったうえで、子どもたちに適宜教えていくことが必要だと思う。著作権法に関する研修は行っているか。</p>
長尾所長	<p>これまで著作権法に関する研修は行っていないが、センターの中でも必要性が話題になっており、今後検討を行っていく。</p>
遠藤教育長	<p>授業中にプレゼンするだけでなく、ホームページを作って掲載する、外で発表するなどの場合には、そのような研修は必須となる。</p>
小屋松委員	<p>教科によっても、ICTの使い道は変わると考えられる。小</p>

<p>遠藤教育長</p> <p>小屋松委員</p> <p>〔非公開の審議〕</p> <p>日程第3 議 事</p>	<p>学校では様々な教科を受け持つわけであり、教科に応じてどのように活用するか悩ましいと思われる。理科ではこのような使い方、算数ではこのような使い方というようなモデルがあると、先生方はイメージが持てるのではないかと思う。使いこなすことのできる先生はどの授業でもツールとして使いこなせると思うが、そうでない先生についてどのようにフォローするのが難しいと考える。</p> <p>先日、熊本市、熊本大学、県立大学、ドコモの4社で連携協定を結んだが、その中の項目の一つにモデルカリキュラムの開発が含まれており、熊大や県立大とともに各教科におけるICTの使い方について開発を行うことになっている。今後それらを教育センター経由で各学校に広げていくことができると思う。先生が全て活用方法を考えるというのは難しく、ある程度標準的なモデルを示す必要があると考えている。</p> <p>ICTを使うことに精一杯で、肝心の授業内容が薄くならないようにしなくてはならない。</p>
<p>遠藤教育長</p>	<p>・議第65号 指定管理者の指定について(白川公園内複合施設等(白川公園及び中央公民館))</p> <p>《渡部生涯学習課長 提出理由説明》</p> <p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p> <p>追加議事</p> <p>本日の会議日程は、以上の予定だったが、緊急に審議いただきたい議事が発生したため、引き続きご審議いただきたい。</p>

(案)平成30年10月 教育委員会会議録(要旨)【10月29日(月)】

<p>〔公開の審議〕 遠藤教育長</p> <p>遠藤教育長</p> <p>〔非公開の審議〕</p>	<p>これからご審議いただく議第66号は、「教育委員会に属する職員の任免その他の身分取扱に関する案件」に該当することから、会議規則第13条に基づき非公開の審議が適当と考えるが、議第66号について、非公開に賛成の委員は、挙手をお願いする。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>全員賛成により、議第66号については、非公開とする。</p>
<p>・議第66号 教職員の懲戒処分について</p> <p>〔閉会〕 遠藤教育長</p>	<p>《木櫛教職員課長 提出理由説明》</p> <p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p> <p>本日の日程は全て終了したので、平成30年10月の定例教育委員会会議を閉会する。</p>